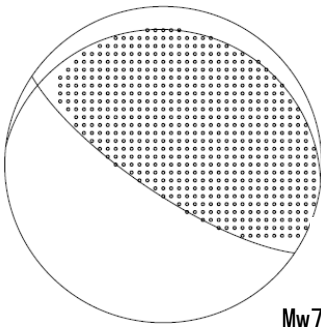


8月27日 中央アメリカ沖の地震 (W-phase を用いたメカニズム解析)

W-phase による解

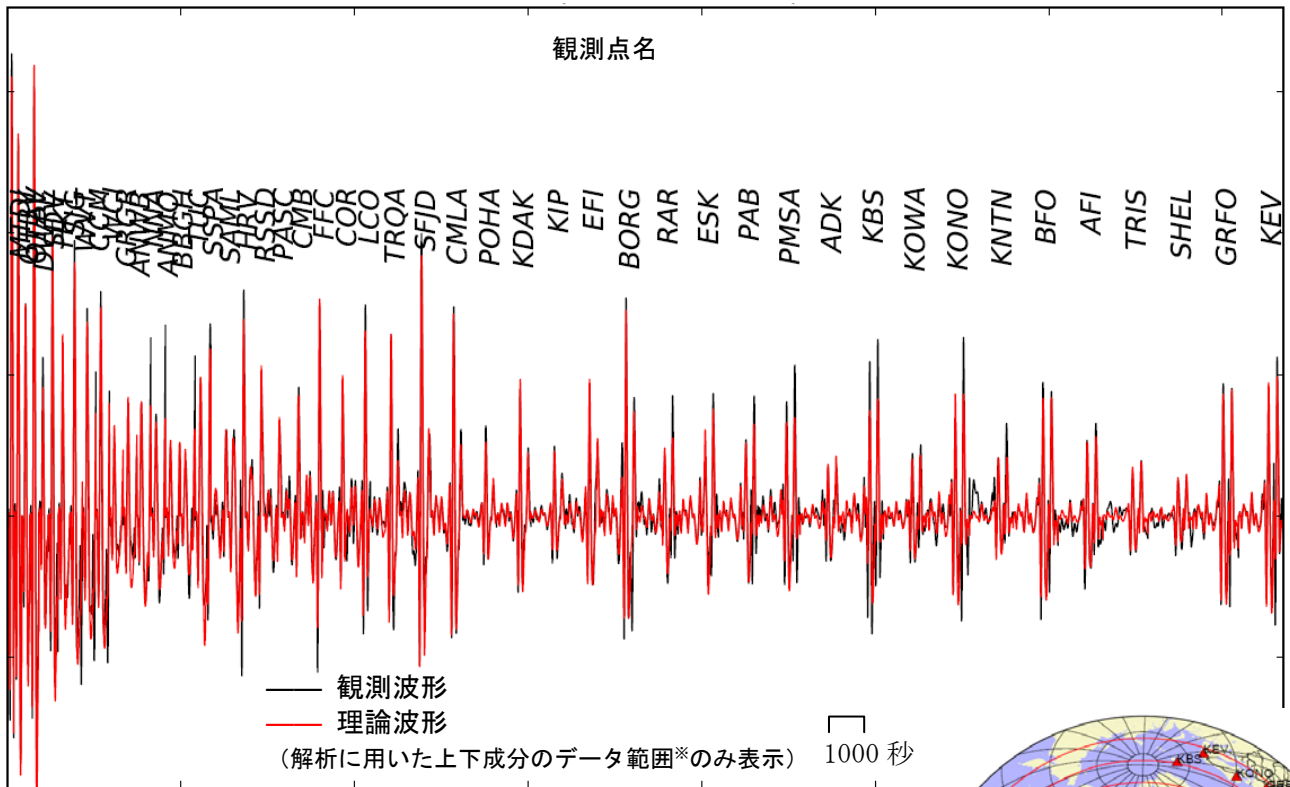


Mw7. 29

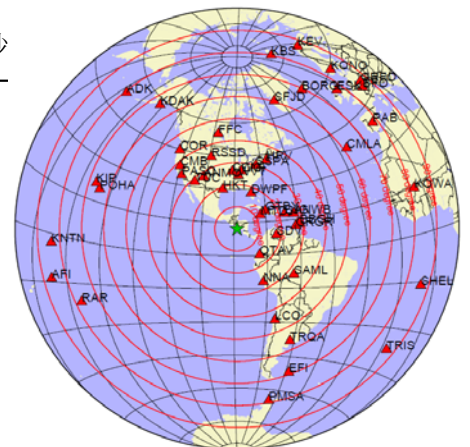
2012 年 8 月 27 日 13 時 37 分 (日本時間) に中央アメリカ沖で発生した地震について W-phase を用いたメカニズム解析を行った。メカニズム、 M_w とも、Global CMT などの他機関の解析結果とほぼ同様であり、 M_w は 7.3 であった。なお、W-phase の解析で求めた震源は $N11.9^\circ$, $W88.5^\circ$, 深さ 12km となった。

W-phase の解析では、震央距離 $10^{\circ} \sim 90^{\circ}$ までの 48 観測点の上下成分、4 観測点の東西成分、4 観測点の南北成分を用い、100 ~ 500 秒のフィルターを使用した。

注) W-phase とは P 波から S 波付近までの長周期の実体波を指す。



※解析に用いたデータの範囲は15秒×震央距離(度)としており、
各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。



解析に使用した観測点配置

(W-phase に関する参考文献)

Kanamori, H and L. Rivera (2008): *Geophys. J. Int.*, **175**, 222-238.

IRIS-DMC より取得した広帯域地震波形記録を使用した。また、解析に使用したプログラムは金森博士に頂いたものを使用した。記して感謝する。